

茨城キリスト教大学附属認定こども園

【集計／みらい園】

年度別自己点検、自己評価表（2014～2016）

【凡例】

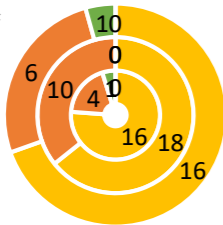
- よくできている
- まあまあできている
- あまりできていない
- まったくできていない

数字(人)

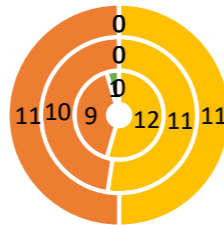
2014年
2015年
2016年

[1] 保育のあり方、子どもへのかかわり方

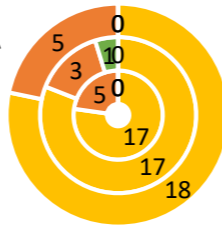
朝の登園時は特に視診を忘れずに、子どもの体調が悪くないかを確認している。



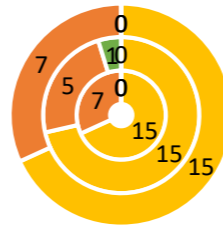
子どもの話をよく聞き思いやサイン、心の動きを推察し、基本的欲求が十分満たされるよう配慮している。



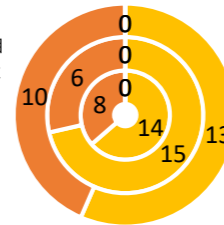
子どもとの温かなやり取りやスキンシップを常に心がけている。



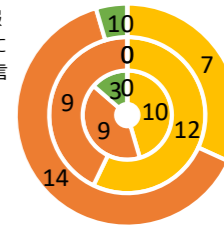
子どもの話をよく聞くようにしている。



子どもをほめたり励ましたりすることで、子ども自身が自信を持っていくようなかかわりをしている。

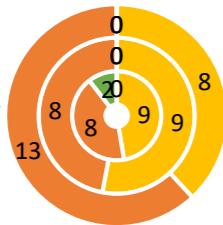


クラスに関係なく、情報を共有しながらその場にいる保育者が適切な言葉かけや対応をしている。

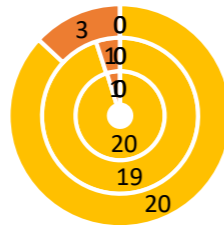


[2] 保育者としての資質や良識

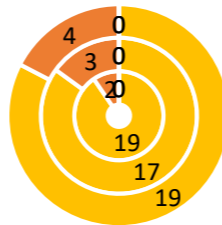
保護者に対し、子どものことや保育のことをわかりやすく話すことができ、保護者との信頼関係づくりに努めている。



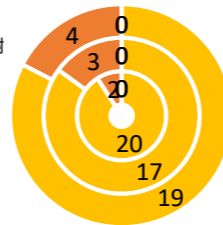
保育者の人間性が子どもたちに影響を与えることを自覚している。



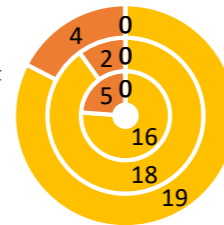
子どもや保護者との対応には、平等を欠かないようにしている。



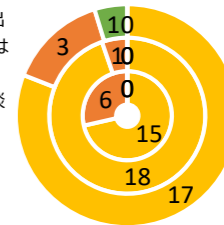
朝と帰りのあいさつは親しみを込めて行い、感謝の気持ちを言葉などで表している。



服装、髪型、身だしなみなど安全性に配慮し、清潔感のあるものを心がけている。

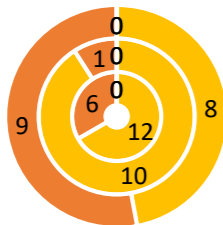


子どものこと、クラスの出来事などで重要なことは園長（副園長）や主任に報告、連絡、相談している。

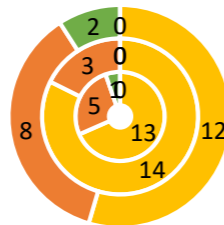


[3] 保護者への対応・守秘義務

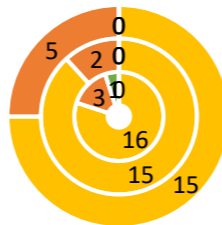
子どもの様子は、直接保護者と話をしたり、電話、連絡帳などを使って伝え合っている。



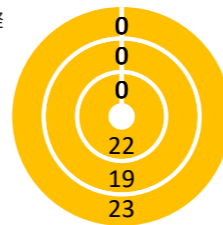
子育てや就労を支えるために、保護者の気持ちに配慮しながら接するように努めている。



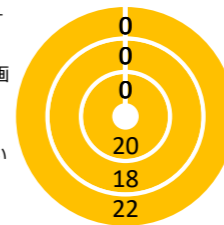
保護者からの様々な、要望については安易に受けたり、断ったりしないで、園長（副園長）や主任等に報告や相談をしている。



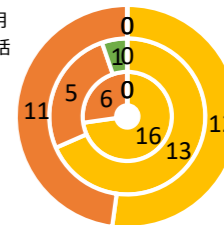
保育者や園の批判を軽はずみにしたり、プライバシーについて他へ漏らしていない。



保護者・園児等に対する情報、および園の運営上の情報、保育計画等の情報については園長（副園長）の許可なく使用、開示、漏えいしていない。

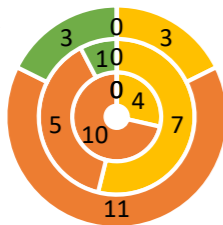


丁寧な言葉と敬語を用いて話しかけ、相手の話も落ち着いてしっかりと聞いている。

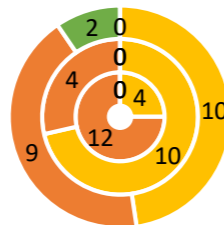


[4] 保育者の専門性に関する研修への意欲・態度

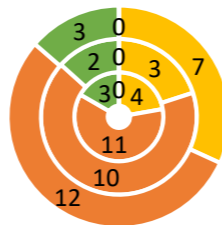
研修会や研究会にはねらいを持って参加し、事前にその内容を確認したり自分なりの考えをまとめていく。



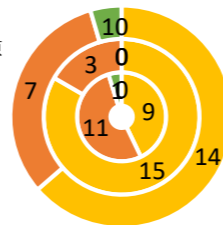
自分の保育についてはねらいを持って計画と反省を行うとともに、保育のあり方や悩みについて他の保育者や主任、園長（副園長）と話し合っている。



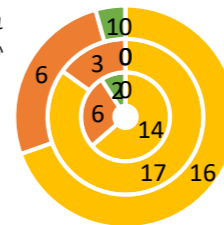
園庭や砂場、通路、隠れ場所などの位置や広さなどがどのような教育的な意味を持つか理解し、保育に生かしている。



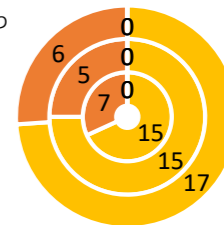
子どもを取り巻く様々な状況について、背景・原因・実態について興味・関心を持っている。



アレルギー・自立の遅れなどについて興味・関心を持っている。



子どもの安心・安全につながる危機管理について関心を持っている。



2016年度自己点検、評価を実施してみた

(全体を通しての感想)

- ・これからも温かい心で子ども達と接し、明るい園生活が送れるように努めていきたいと思えます。自己点検、評価を行って、子どもの遊びが発展するヒントやアイディアの少なさや、保護者との関わりの未熟さを感じました。自身の知識を豊富にして、より良い保育と保護者との関わりができるようにしていきたいと思えます。
- ・徐々に子ども達の特性がつかめてきましたが、援助の方法など課題が出てきています。しかし、相談できる環境があるため、助言を頂いたりしながら子どもたちの理解につなげていきたいと思えます。保育者の専門性に関しては、かけていると思うので、今後学んでいきたいと思えます。
- ・1年目で、保育面は未熟であると感じています。言葉かけや保育の進め方については、これからも勉強し続けます。また、子どもを観察し、一人ひとりの特徴、成長について理解する力も未熟であると感じています。一人ひとりと向き合い、発達課題を見出し、適切なかかわり方を先輩保育者に相談し、行えるようにしたいと考えます。身だしなみは常に清潔さを心掛け、挨拶もしっかり行う努力はしてきました。これからも初心を忘れずにいきます。
- ・自己評価をしてみて、改めて気づいた課題がたくさんあるので、意識しながらよりよい保育をしていきたいと感じました。子ども達の家庭事情など、必要なことは担任の先生と共通理解をしていかなければならないと思えました。
- ・自分の中で、一つ一つ意識して保育に臨んでいけるように気を付けています。行事に向けて忙しくなってしまうと子ども達を急がせ、大きな声を出してしまうことが多くなってしまうので、保育者自身が落ち着いて保育にあたっていけるようにしていきたいと思えます。
- ・保育者の専門性の向上、保育者間の連携及び情報の共有など、今後も心がけなければいけないと反省しました。また、効率を考えた仕事の進め方も努力したいと思えます。

<みらい園>